

令和6年度 第2回 船越小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年6月26日（水） 13時30分から15時05分まで
- 2 開催場所 船越小学校 3階会議室
- 3 出席委員 本多 靖明、名倉 久純、杉浦 猛弘、藤本 桂、鈴木 仁、永田 真也
山内 雄一郎、山田 佳敬
- 4 欠席委員 石川 公子
- 5 オブザーバー 佐藤 拓男（中部協働センター所長）
- 6 学校支援コーディネーター 鈴木 恭子
- 7 学 校 中村 竜久（校長）、田内 乃理恵（教頭）、美和 泰子（教務主任）
波多野 祐子（CSディレクター）
- 8 傍聴者 1人
- 9 協議事項

（1）教育活動の充実に向けて

- ① ねらいの共有
- ② 具体的な活動例
 - ・クラブ活動の講師
 - ・地域防災を学校で学ぶ
 - ・学校の歴史や地域とのかかわりについて学ぶ
 - ・学校花壇の運営

（2）持続可能な仕組みづくり

- ① ボランティアの登録や運用の方法

- 10 会議記録作成者 CSディレクター 波多野 祐子
- 11 会議記録

司会の美和（教務主任）から、委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）教育活動の充実に向けて

- ① 校長から、R6年度グランドデザインの重点を再度確認の話があった。
今年度に入り、3年生に昔の船越小の話を地域の方にしてもらい、さくら、ひまわり学級に、野菜の育て方を農家の方から教えていただくなど、来てくださった方も喜んでもらえる活動もできたと報告があった。
- ② ・クラブの講師は、ボランティア、ねこのてさん、交通指導隊などに投げかけて、知り合いの輪を広げて募集するのはどうか。
ボランティアがいつでも学校に入れる体制を作る。（名札も）（本多委員）
・クラブ講師は保護者だけでなく、広い範囲で探したらどうか。
防災は市の専門に依頼するのが良いのではないかと。（名倉委員）
・活動の年間計画を保護者に案内し、回覧板で地域にアピールする。
災害の時、船越小も避難所になるので、学校の防災設備を知りたい。（杉浦委員）
・持続可能な状態にする為、自治会にもお願いしてボランティアなどのリスト作りをしていき、コーディネーターの負担軽減になれば良いのでは。（藤本委員）

- ・保護者が、児童が卒業しても地域としてかかわりを持ってもらえるよう、保護者の意識をかえていけたらよいと思う。(永田委員)
- ・投げかける場があれば、お手伝いやボランティアも集まるのではないか。その場が、代々つながるプラットホームになれば良いと思う。(鈴木委員)
- ・ボランティアなどのネットワークを作り、気軽に参加できるようにして、保護者にはSNSなどを使い、手をあげやすくしてはどうか。(山内委員)
- ・クラブ活動の講師は、色々な業種の人に来てもらう。
防災は、子供と実際に避難所を作ってみるのはどうか。
ボランティアの組織作りに関して、名簿作りはなかなか難しいと思うが、SNSや回覧板など発信の場だけでも準備できれば。(山田委員)

(2) 持続可能な仕組みづくり

① ボランティアの登録や運用の方法

- ・ねこのて、子供会、交通安全指導隊などに声掛けしてボランティアを組織化し、SNSやアプリを活用し、気軽に参加できる仕組みを作るのが良いのではという意見が多くあった。
- ・SNSは利用者も限られるし、学校として利用するには難しい。まずは身近なところから輪を広げていくとよいのでは、という意見もあった。(校長先生)
- ・船越小はPTAや地域活動が活発であると思う。
水やり、昔の話など、シニアクラブや地域の見守り隊などの団体に依頼したり、浜松市内の大学と連携して講座をおこない、継続している学校もある。
協働センターには色々な講座も数多くあるので、利用できるものは利用してもよいが、まずは既存の団体や個人の活動を生かしていくのがよいのでは、というお話が、オブザーバーの佐藤所長からあった。

その他報告事項等

- ・司会から、次回会議は、令和6年10月23日(水)13時30分から会議室で開催する旨の報告があった。